

授業科目	社会的養護 I				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21602J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-3			
担当教員	山根 正夫							
授業概要	子どもたちは未来の社会を創造する大切な存在です。しかしながら児童虐待など子どもの問題も深刻化・顕在化しており、それに伴い社会的な養育の必要性が謳われている。いかなる環境で育っている子どもであっても人格が尊重され、子どもの最善の利益に基づいて、その健やかな育ちが等しく確実に保障される必要がある。社会的養育を巡っては子どものニーズに応じた養育の提供や施設の改革などの着実な推進に向けてロードマップも示されている。この授業ではこれらの点について学習し、社会的養育を必要とする子どもと家族を支援していくための、理念、制度、方法などの基本的内容を理解できるように内容が構成されている。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する。</li> <li>2 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。</li> <li>3 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。</li> <li>4 社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解する。</li> <li>5 社会的養護の現状と課題について理解する。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	25						25	
知識・理解 (DP1-2)	25						25	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10						10	
思考・判断 (DP2-2)	10						10	
関心・意欲 (DP3-1)	10						10	
関心・意欲 (DP3-2)	10						10	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)	10						10	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
社会的養護について十分な知識があり、また課題解決に向けて思考することができる。定期試験の結果で90%理解ができていくこと。				社会的養護について概ね理解している。定期試験で70%に到達できること。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	[社会的養護の現代的課題と基本理念について解説する。]			講義		テキスト該当箇所を予め通読しておくこと		30分

2	社会的養護の歴史的変遷について解説する。	同上	同上	30分
3	子どもの人権と社会的養護について解説する。	同上	同上	30分
4	社会的養護の基本原則について解説する。	同上	同上	30分
5	社会的養護の仕組みと法体制について解説する	同上	同上	30分
6	社会的養護に関する制度や法体系について解説する。	同上	同上	30分
7	社会的養護の実施体系について解説する。	同上	同上	30分
8	社会的養護の対象と求められる環境について解説する。	同上	同上	30分
9	社会的養護の対象と支援のあり方について解説する。 一乳児院・児童養護施設など	同上	同上	30分
10	社会的養護と支援の在り方について解説する。 一家庭養護など	同上	同上	30分
11	社会的養護に関わる専門職について解説する。	同上	同上	30分
12	今日の社会的養護に関する社会的状況及び施設等の運営管理の現状と課題について解説する。	同上	同上	30分
13	被措置児童等の虐待防止等及び取り組むべき課題について解説する。	同上	同上	30分
14	社会的養護の現状と課題について解説する。	同上	同上	30分
15	全体のまとめとテスト			
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	児童・家庭福祉で学んだ内容について復習しておく。			
テキスト	小川・坂本編著 実践に活かす社会的養護 I (2020)ミネルヴァ書房			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業の中で適宜紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	社会的養護を必要とした子どもたちの語りをまとめた文献等を読み、現状と課題だけでなく、その心情に配慮した養育のあり方についても思考の範囲をを広げてほしい。			
達成度評価に関するコメント	基本的には定期試験の結果で達成度を評価します。社会的養護Ⅱにつながるものとして、この授業内容を平均的以上に理解しておくことが求められます。			

